

第2回 学校建築シンポジウム

『安全性が求められる時代における社会空間としての学校建築の可能性』

小・中学校は、地域社会において成長期の子ども達を育てると共に、住民が愛着を抱き、深い関わりをもつ地域の施設として位置づけられてきました。しかし、池田小学校の事件以来、子どもの安全性が求められています。多くの学校では門や昇降口が閉じられるようになり、長年築き上げてきた地域との関わりが薄れたという声も聞かれます。

このような時代において、地域社会との新しい学校づくりを目指した注目すべき活動があります。

岸裕司氏は、習志野市立秋津小学校においてPTA会長、秋津コミュニティの会長を歴任し、現在は顧問をされながら、父親参加などによる小学校を拠点とした地域社会との融合に関わる独自の活動を積極的に展開されています。この活動はコミュニティ・スクールのモデルとなり、学校と地域の融合教育研究会副会長として全国的に活動を広げることに尽力されています。

金山康博氏は、埼玉県志木市において公民館と地域図書館との複合施設である志木小学校の建設に教育行政の立場から関わり、少人数学級の導入など革新的な政策を行い教育界で注目を集め、現在では同校の校長を勤めながら、地域社会との関係づくりの活動をされています。

古谷誠章氏は、早稲田大学を始め、非常勤講師として東京工業大学やいくつかの大学において、「ハイパースクール/学校を越えた学校」というコンセプトを提示した課題で建築設計の授業を担当され、将来の学校建築づくりを目指した活動をされています。

シンポジウムでは、教育行政・教師の立場、地域住民の立場、建築家の立場を代表して3名の講師をお招きして、社会空間としての学校建築の可能性を再考してみたいと考えています。

- 開催日時 : 2006年10月14日(土) 13時30分~17時  
場 所 : 東京工業大学 教育環境センター会議室(緑ヶ丘4号館2階)  
住 所 : 東京都目黒区大岡山2-12-1  
最寄駅からの案内  
: 東急大井町線 緑が丘駅から徒歩3分、大学西門から30m  
(最寄駅は大岡山駅ではありません。添付している地図をご覧ください)  
<http://www.rcfef.gh4.titech.ac.jp/center/index.htm>  
講 師 : 岸 裕 司 氏(千葉県習志野市秋津コミュニティ顧問)  
金山康博 氏(埼玉県志木市立志木小学校長)  
古谷誠章 氏(早稲田大学教授)  
司 会 : 藍澤 宏 氏(東京工業大学教授)

シンポジウム終了後、30分から1時間程度のミニ懇親パーティを開催します。  
是非ご参加くださいませうお願い申し上げます。

東京工業大学教育環境創造研究センター長  
坂本一成

【参加受付】

- 定 員 : 60名(申込先着順)  
参 加 費 : 500円(資料代など)  
申込方法 : 氏名、勤務先・所属、電話番号、E-mailアドレスを明記の上E-mailまたはFAXでお申し込み下さい。  
申込・連絡先 : 東京工業大学教育環境創造研究センター 宮本文人  
住所 : 東京都目黒区大岡山2-12-1  
電話 : 03-5734-2384(宮本研究室) FAX : 03-5734-2999  
E-mail : miyamoto.f.aa@m.titech.ac.jp>